不知火物語

ハ 13
3162
28

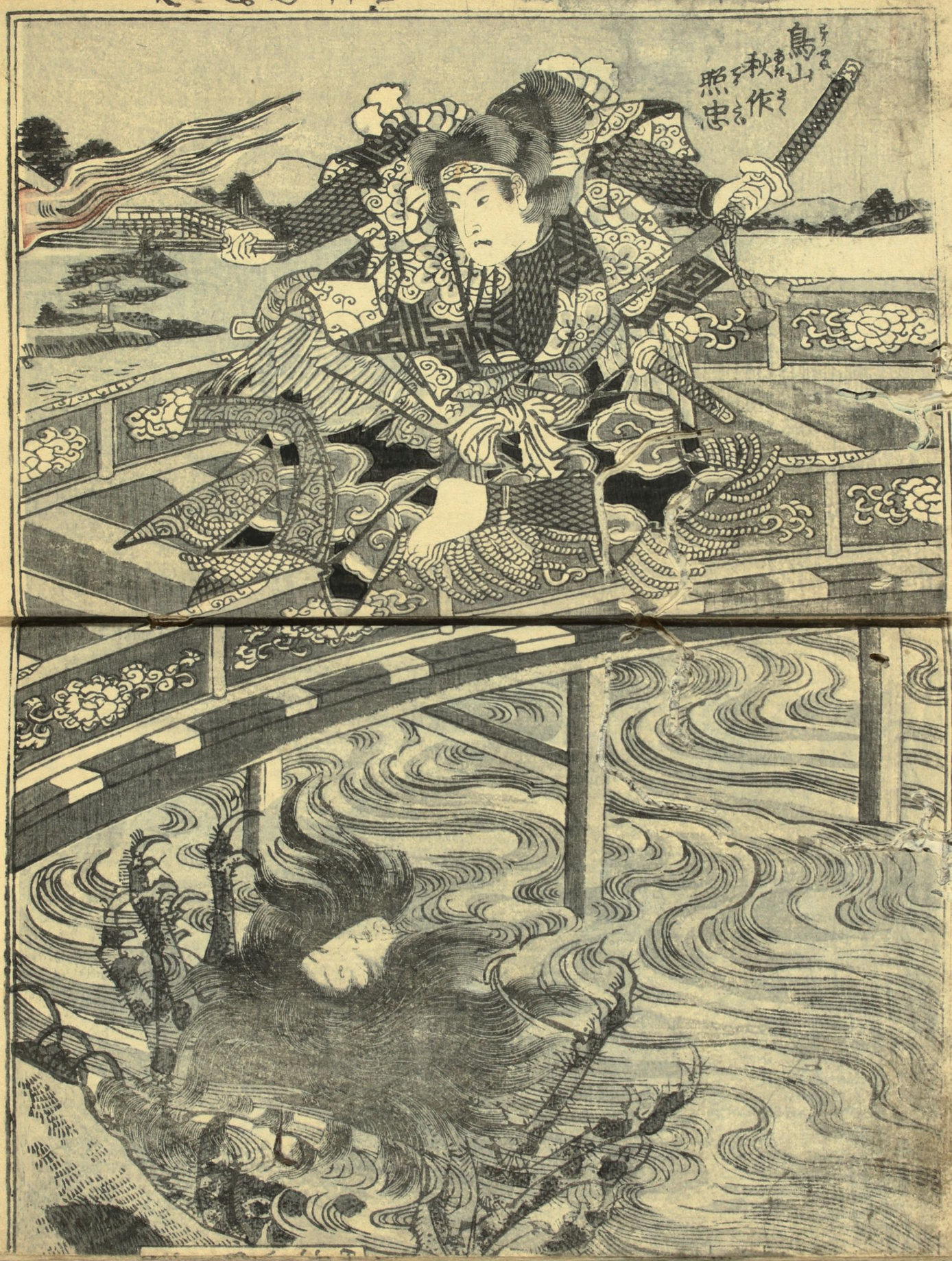
門へ 13
號 3162
巻 28

昭和九年
十月二日
購求

世界と云万物と云元空々寂々として色も無し香も無し空中に氣を生ず氣初め象を凝て烟の如くなれば既に其形有て其烟雲となれば雨も降り竜も騎る氣の精し紀物固より國と成る人と成る造化真宰のこゝろざし口ゆも云れぬ玄妙不測無を把て有とはあゝ前の虚像の實妄語より出て真諦で成れば根ハ遂ぬと由良さんも云へり小説稗史ハ皆假設の寓言も大造吐徹せば信と成る人も有て佛の方便ハ目前に奇怪の相さへ現ぜさせれど愚輩が戯作の慢口ハ後々剥る正月詞めでたく書ては到れば必ず尾を出し辻妻のハず立消の志を更多かるハ氣の凝ずの赤熟ずと氣根を磬して白縫も全部ふてハ五十六編さく長く志くよく無根も法さるの様と我ぐらゝ感心して御見物が感心されをいのハせん

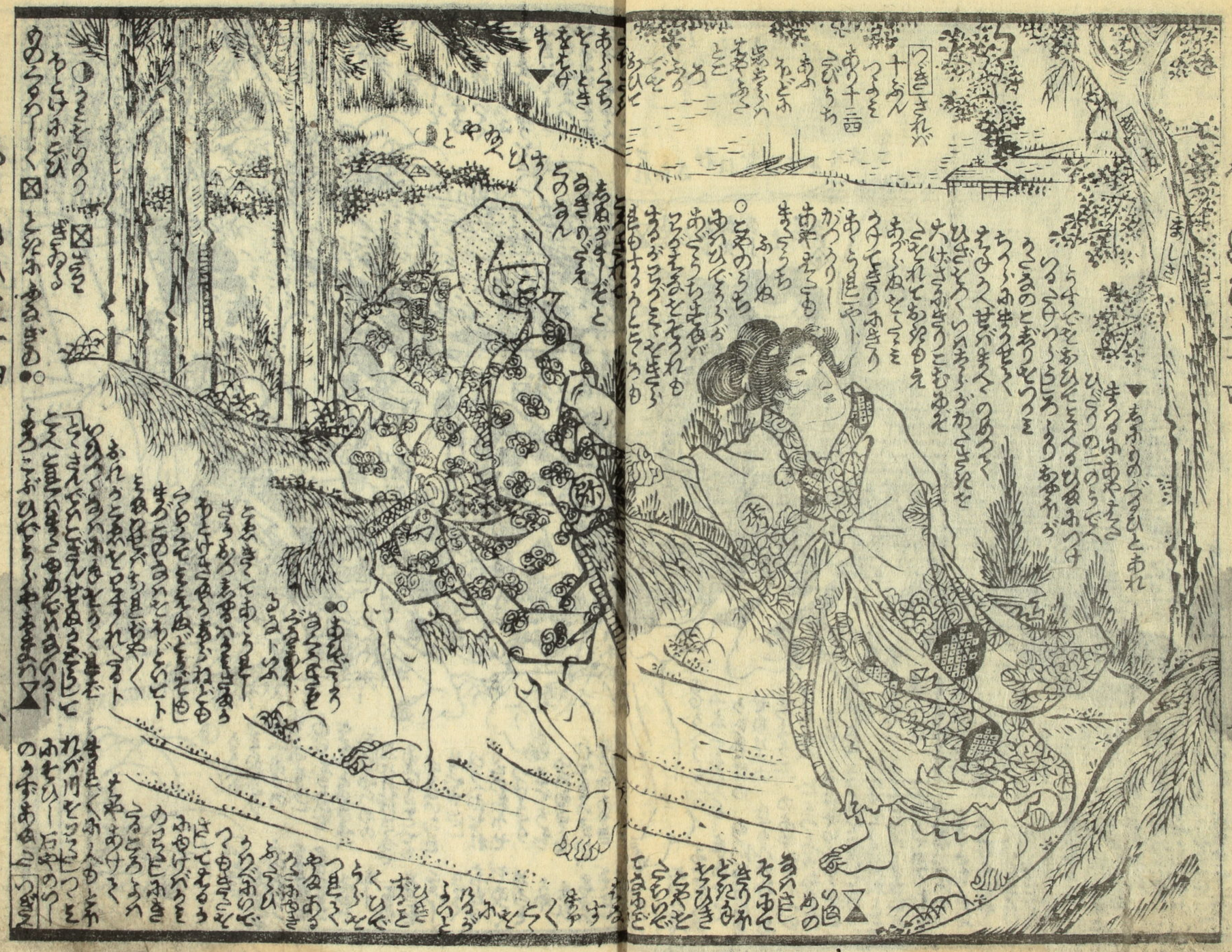
丁卯夏

柳亭種彦

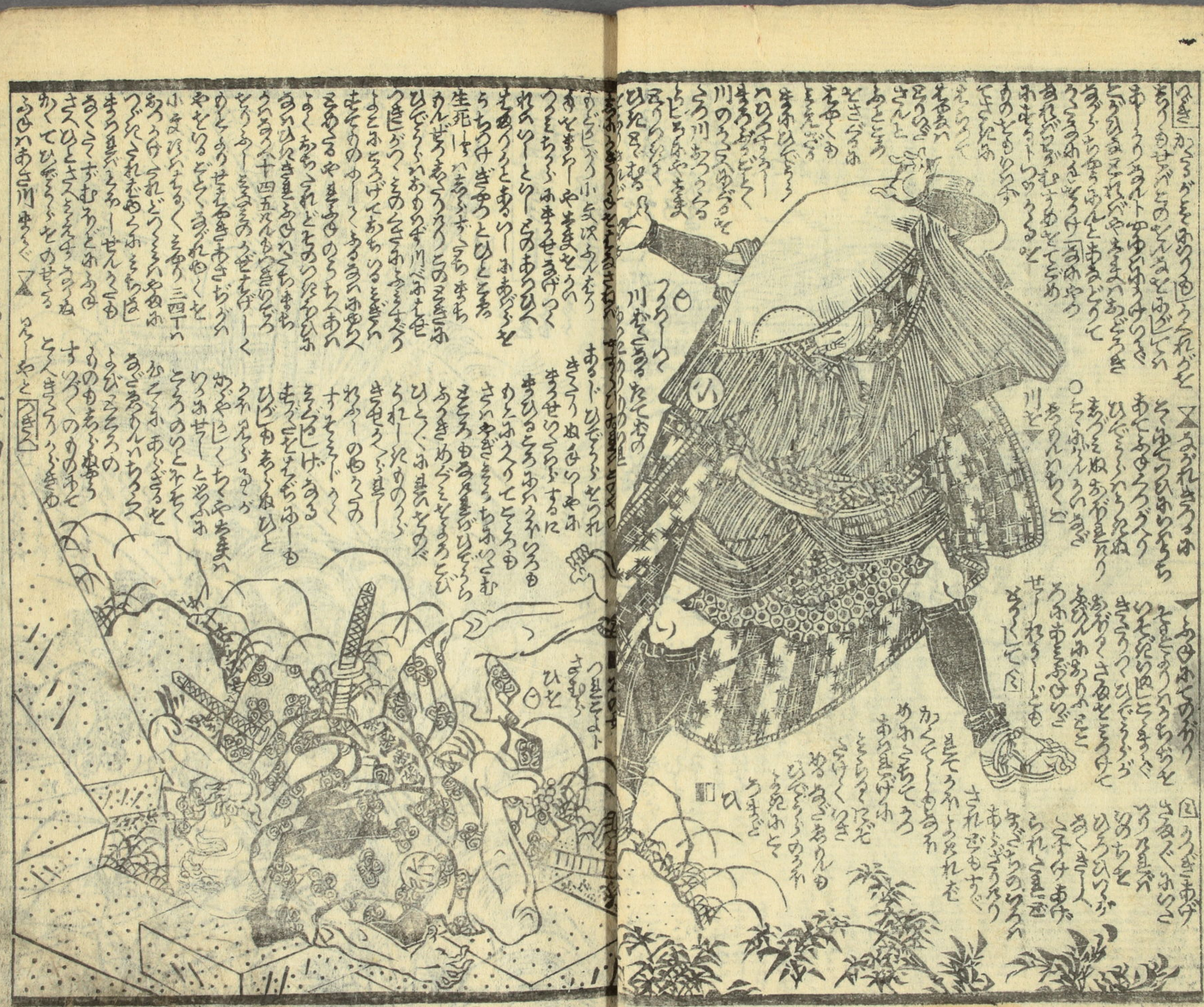

鳥山
秋作
照忠

ぢ
ぢ
ぢ

岩
秀



浦茅門上の後陽



三つ〳〵ぬひ彈

五拾四編ヨリ柳亭種彦作
六十編マテ一惠齋芳幾画

兩面織花田物語

初編ヨリ同
五編迄同
近刻同

作画

假名垣魯文録

三十一編ヨリ假名垣魯文録
三十五編マテ朝霞樓芳幾画

古今俳優似顔大全

故豐國公羽筆
大錦百三番續

太平記英勇傳

中錦山々亭有人記
百番續惠齋芳幾圖

五拾四編下

たゝぬき譚

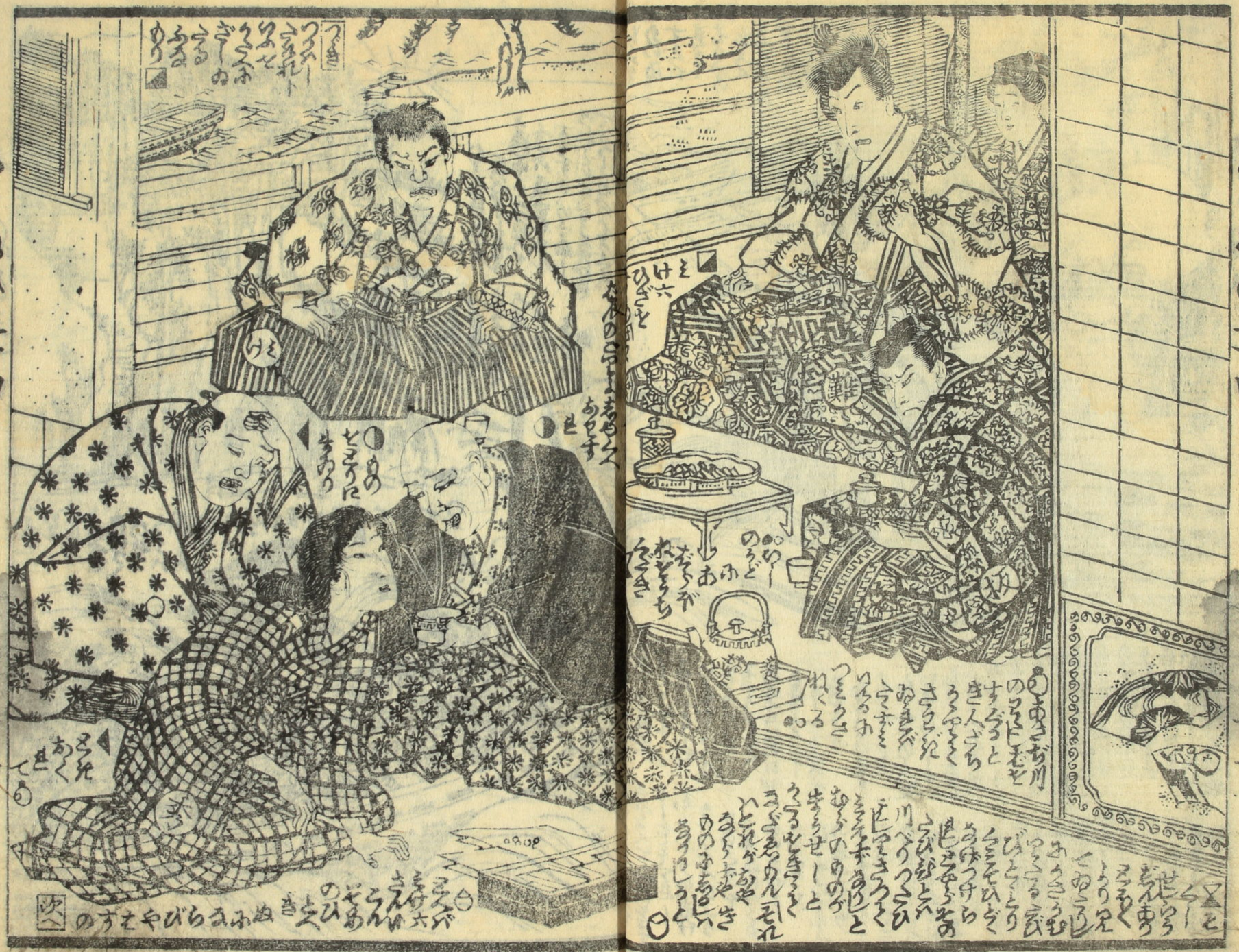
五拾四編

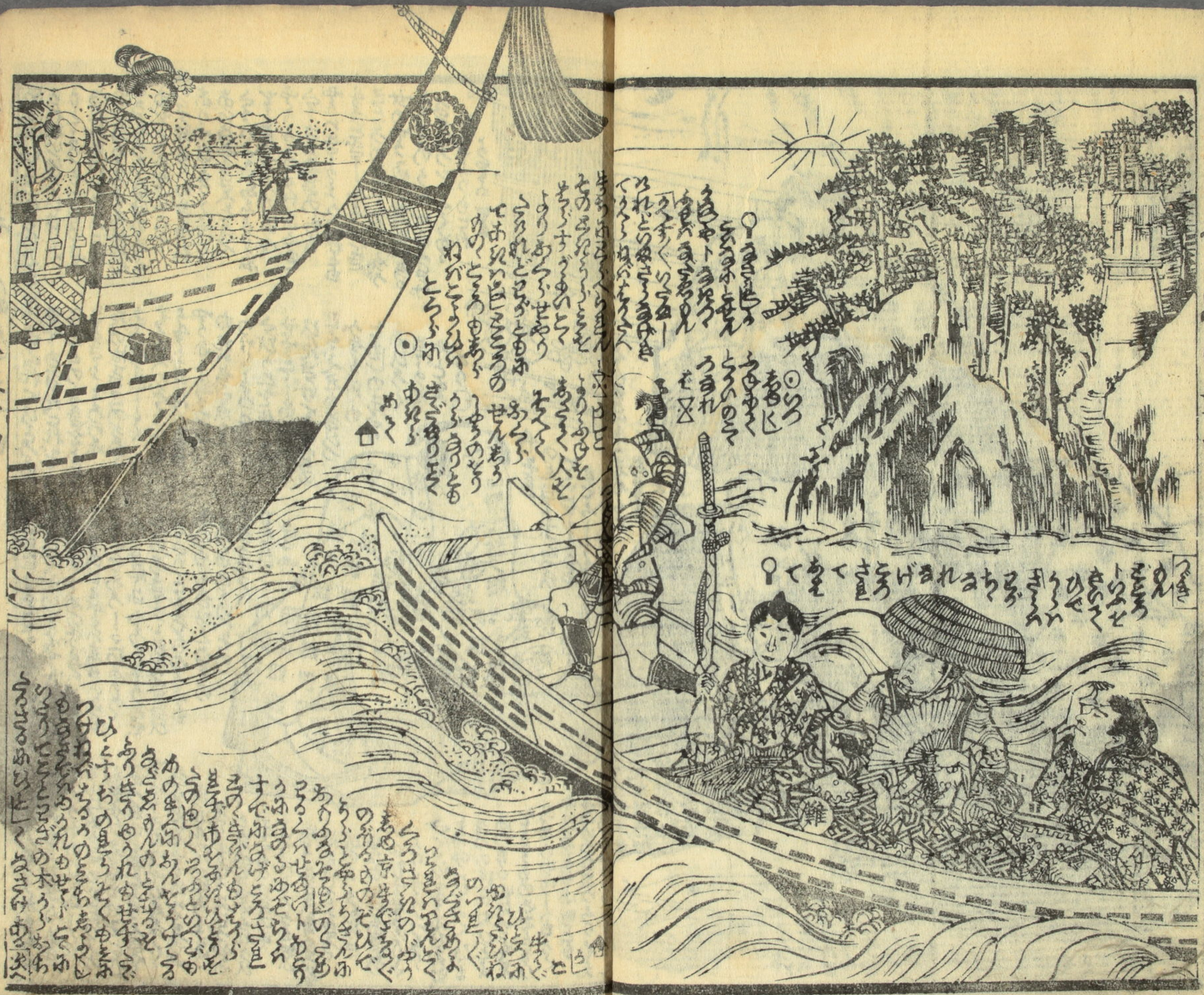
たゝ美化

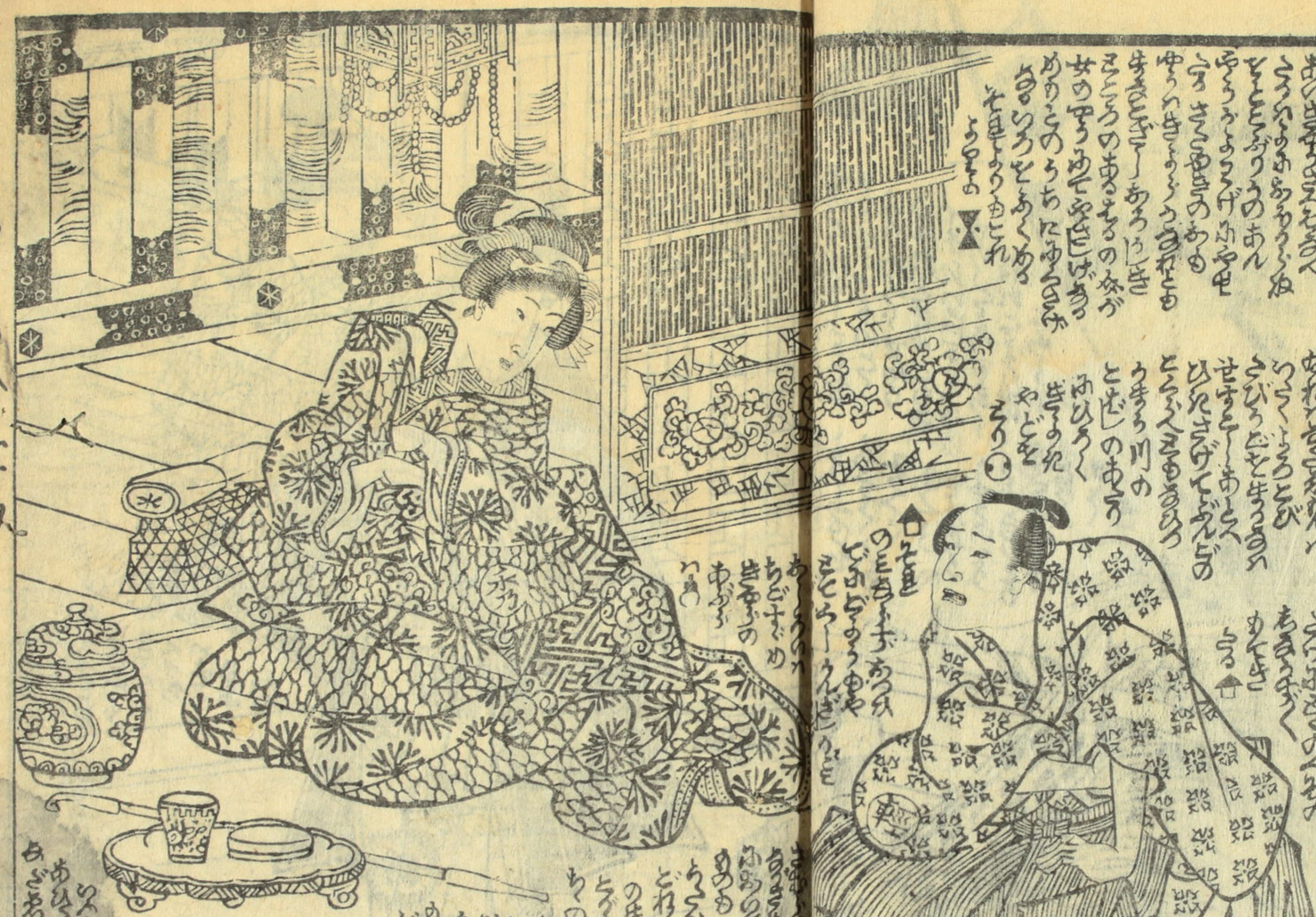
す葉亜

廣幸作

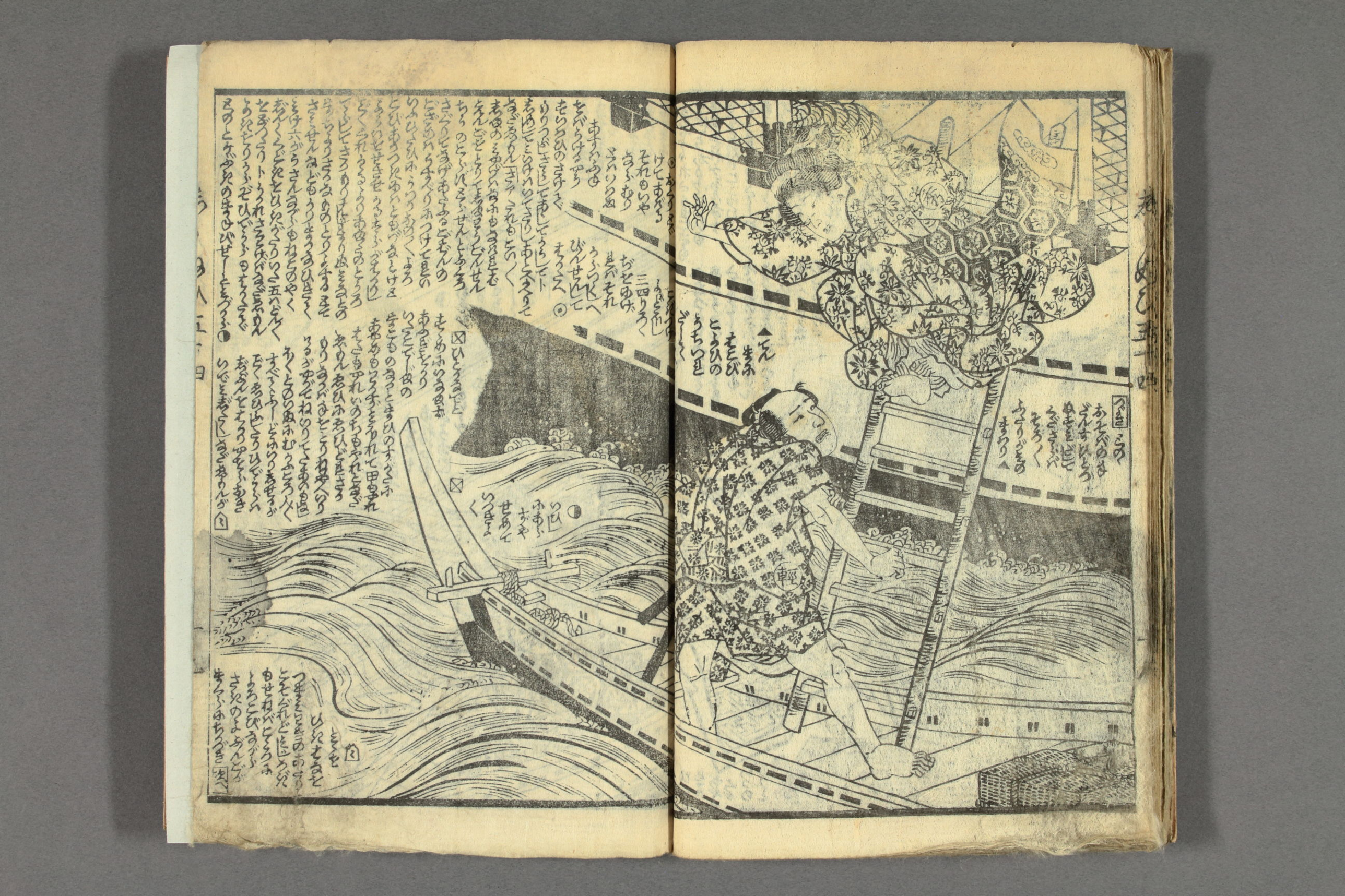
一文斎 貞丸画

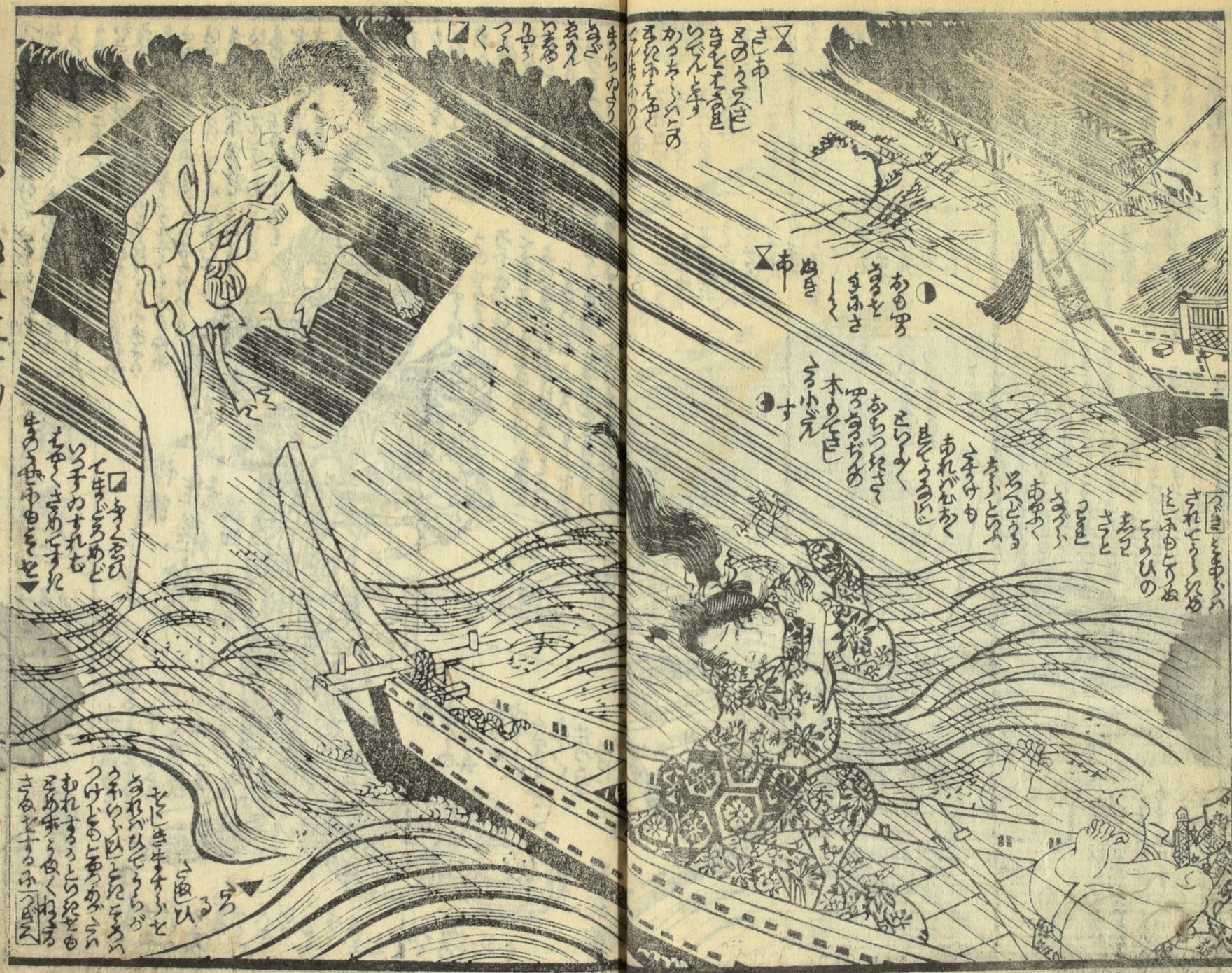






一文高
銭九文





種彦作　芳幾画

名譽の義賊ハ　柿木金輔
名誉の孝女ハ　桂三吉於市

朝霞樓芳幾画

浪華黄金虎

三編　讀切　假名垣魯文　作

瀬川如皐　山々亭有人　恵齋芳幾　合
梅素玄魚　松湖交來　竹河　其水

一對男の縁ゐ因て戯作劇場を一揉ゐ竹林ゐふぬ七軒人が一回五葉を持きりめ合作全備の三編冊

初編　初丁より五十ぬ迄　其水作　同十六丁めより十丁ぬ迄　有人作　同十六丁めより十丁ぬ迄　交來作　同十六丁めより十丁ぬ迄　如皐作

二編　初丁より五十ぬ迄　芳幾作　同十六丁めより十五丁ぬ迄　其水　同十六丁めより廿丁尾迄　有人　同十六丁めより廿丁尾迄　如皐　同十一丁めより十五丁ぬ迄　魯文　同十六丁めより廿丁尾迄　其水　如斯ゐ持場茂

三編　初丁より五十ぬ迄　玄魚作　同六丁めより十丁ぬ迄　如皐　同十一丁めより十五丁ぬ迄　魯文　同十六丁めより廿丁尾迄　其水　定め一豆ゐ筆力をたくし浮當藏板の考くぬ同様御高評と希ふ

花水草紙四編
江戸深川佐賀町
廣國堂幸助梓

丁卯秋
御多種表作
新嘉機芳武恵
五月節
榮壽堂板

白縫譚
丁卯秋
五拾五編上

一

疑ひなくとも念佛すれバ往生せると法然ハ極樂安賣の
相場を立られき外見ぞくの親孝行も不孝と云るゆへ
勝るべしさ是バ虚と實ハ姑く論せず童稚達ゆへ孝子の
話を周諄も聽せるるもるり俗書なれど博多細傳實録と
云冊子の中ゆ吉村某といふ武士筑紫浪津島の姫神ゆ
神感を蒙りし吏を記せり明和中の事ゆ仕しゆぬひ
ゆへ係ゆど末ゆ到りて用ゆべき腹稿不図なりられバ画の
案ゆも罄るるもりうふ幸と極野夫の画援まれゆ
孝行を勧る老婆心切ゆなる

慶應三卯秋

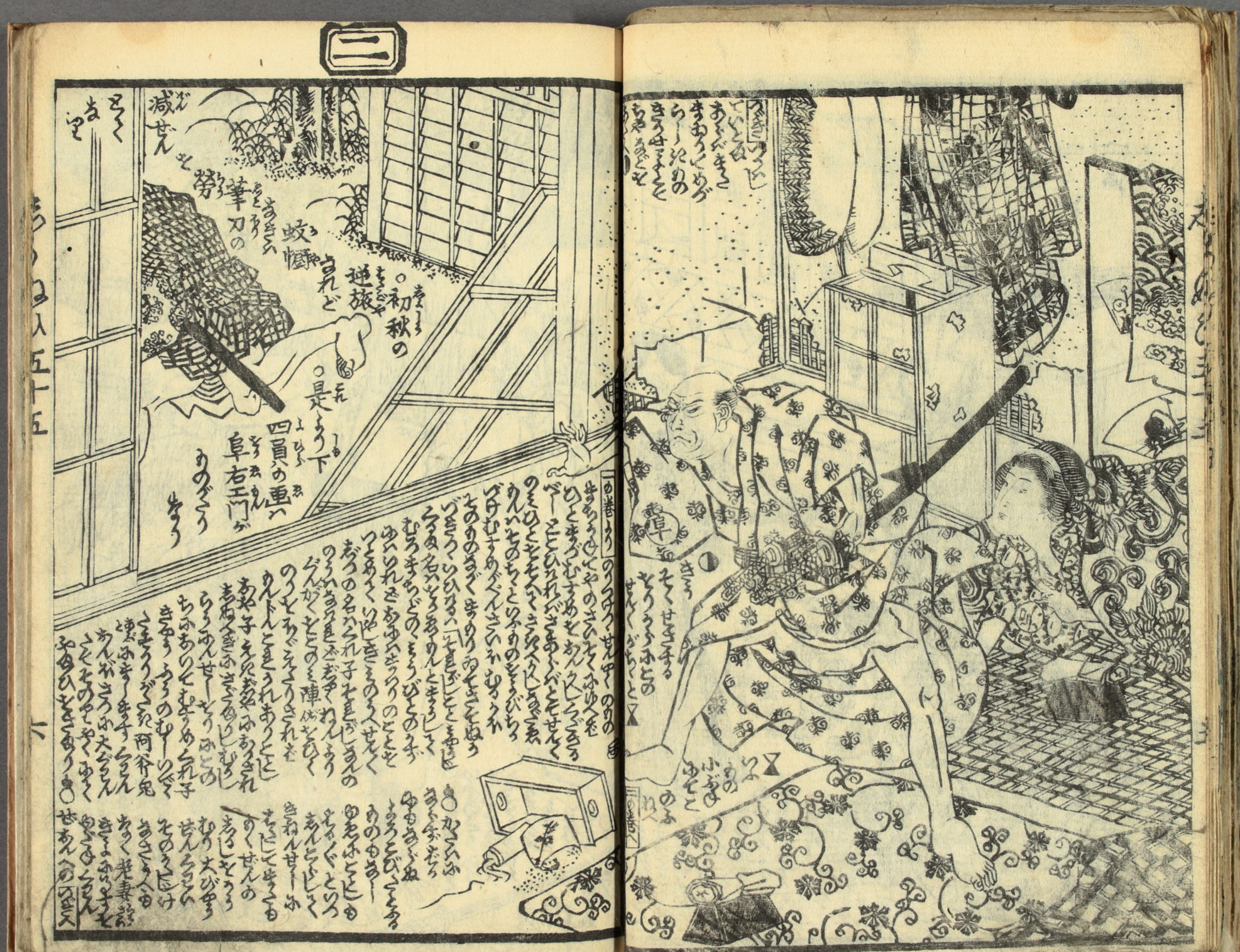
柳亭種彦記

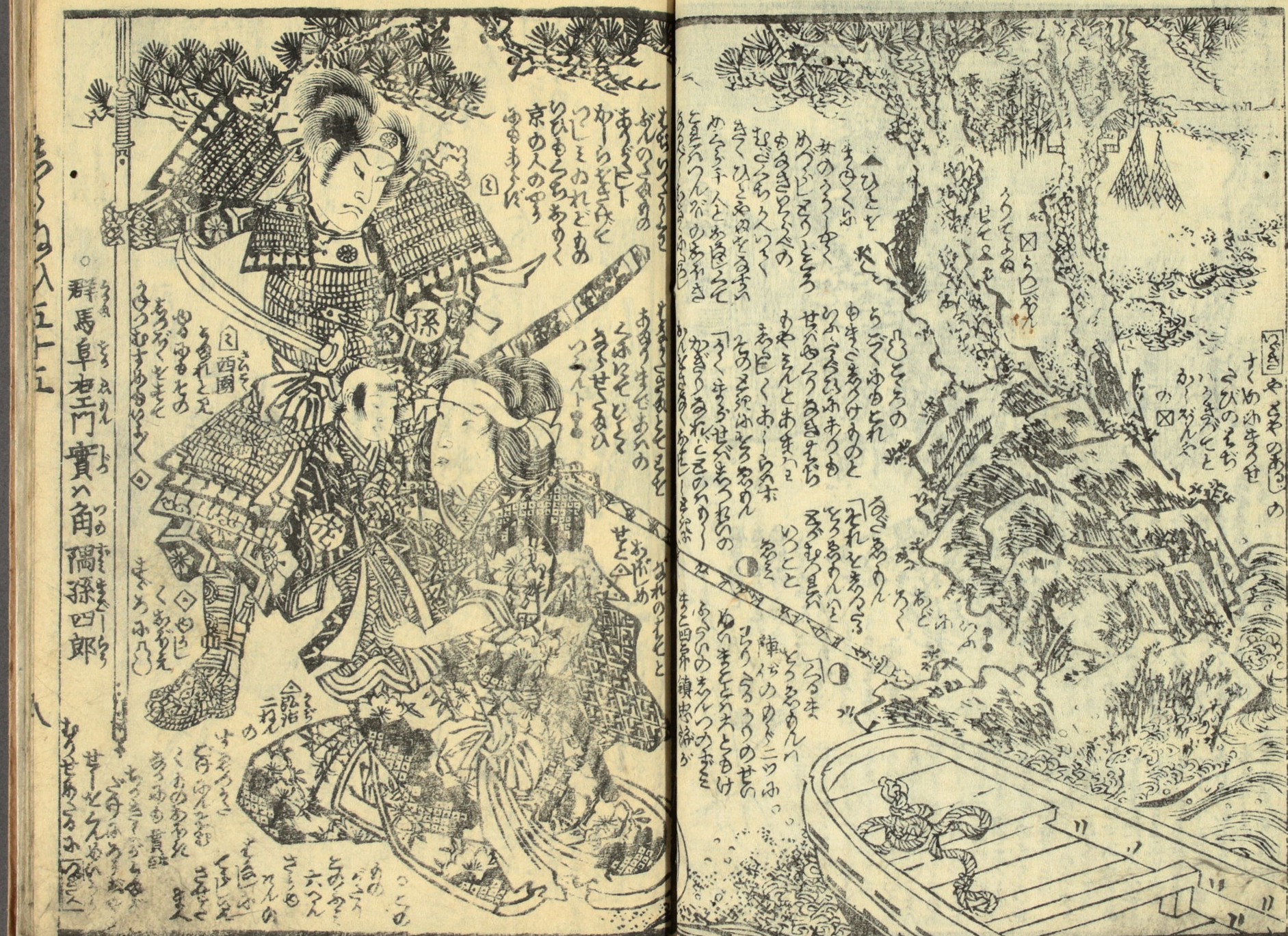
天嶋中津宮

歩卒志村弥三
浜島より帰り
感得の竹筒
を父り
父樵翁
妹
与喜

泉水島

早
早
早
這箇
船兒
江湖ハ
没有
架空
画様


二
初秋の逆旅
蚊帳
華刀の勢
減せん
是ぞ下
四員の重ハ
阜右エ門



群馬阜右エ門實ハ角隅孫四郎

長谷寺

種彦作　芳幾畫

兩面織花田物語　初編ヨリ五編迄刊同　作　亞

假名讀八犬傳　三十編ヨリ假名垣魯文錄　三十五編ヨリ朝霞樓芳彦畫

古今俳優似顔大全　故豊国翁筆　天保　白三番續

太平記英雄傳　五拾四編ヨリ柳亭種彦作　六十編マテ一惠齋芳幾畫

芳幾畫

種彦作

五拾五編下

志らぬひ

五十三の

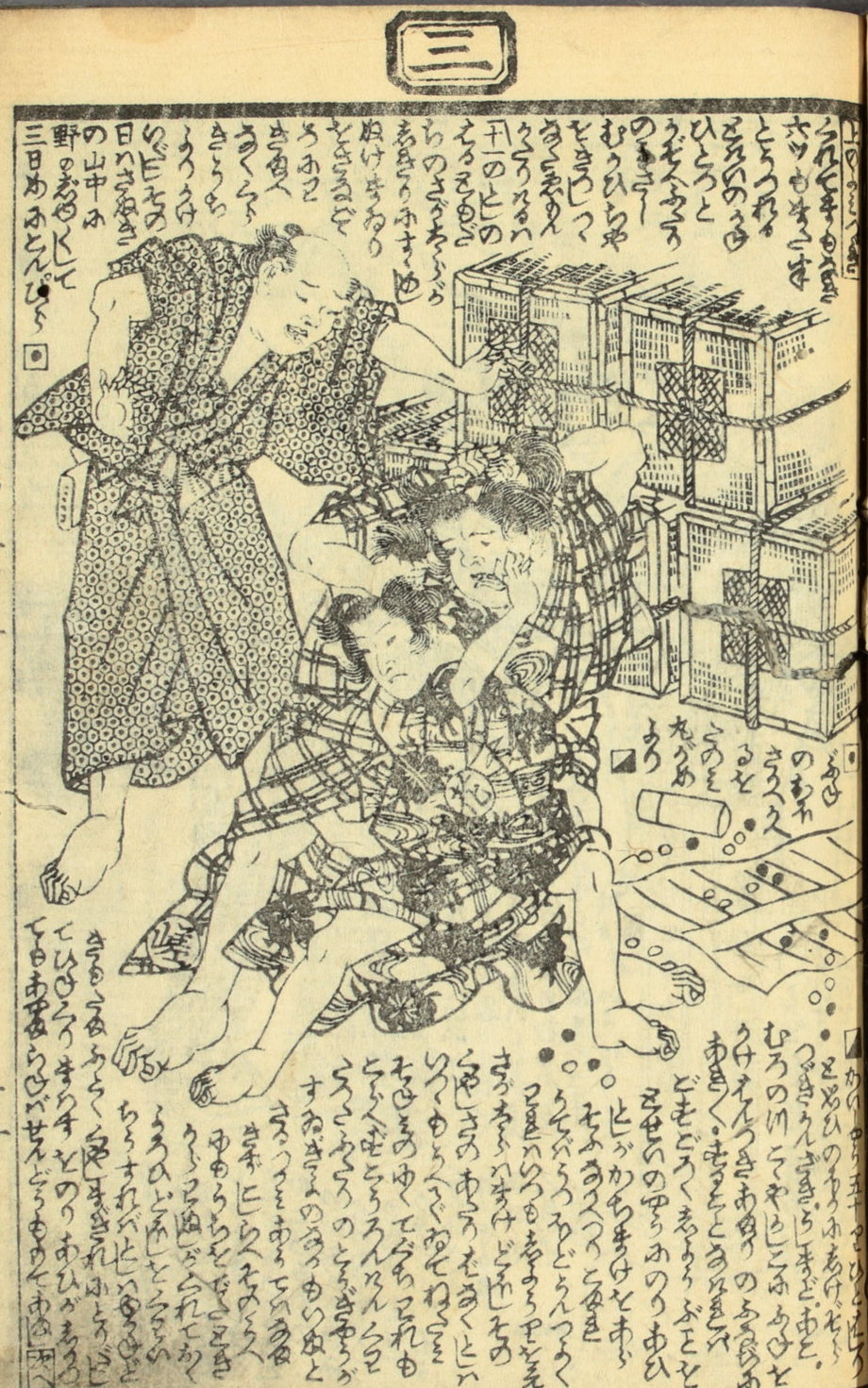
上

経秀作

芳盛画

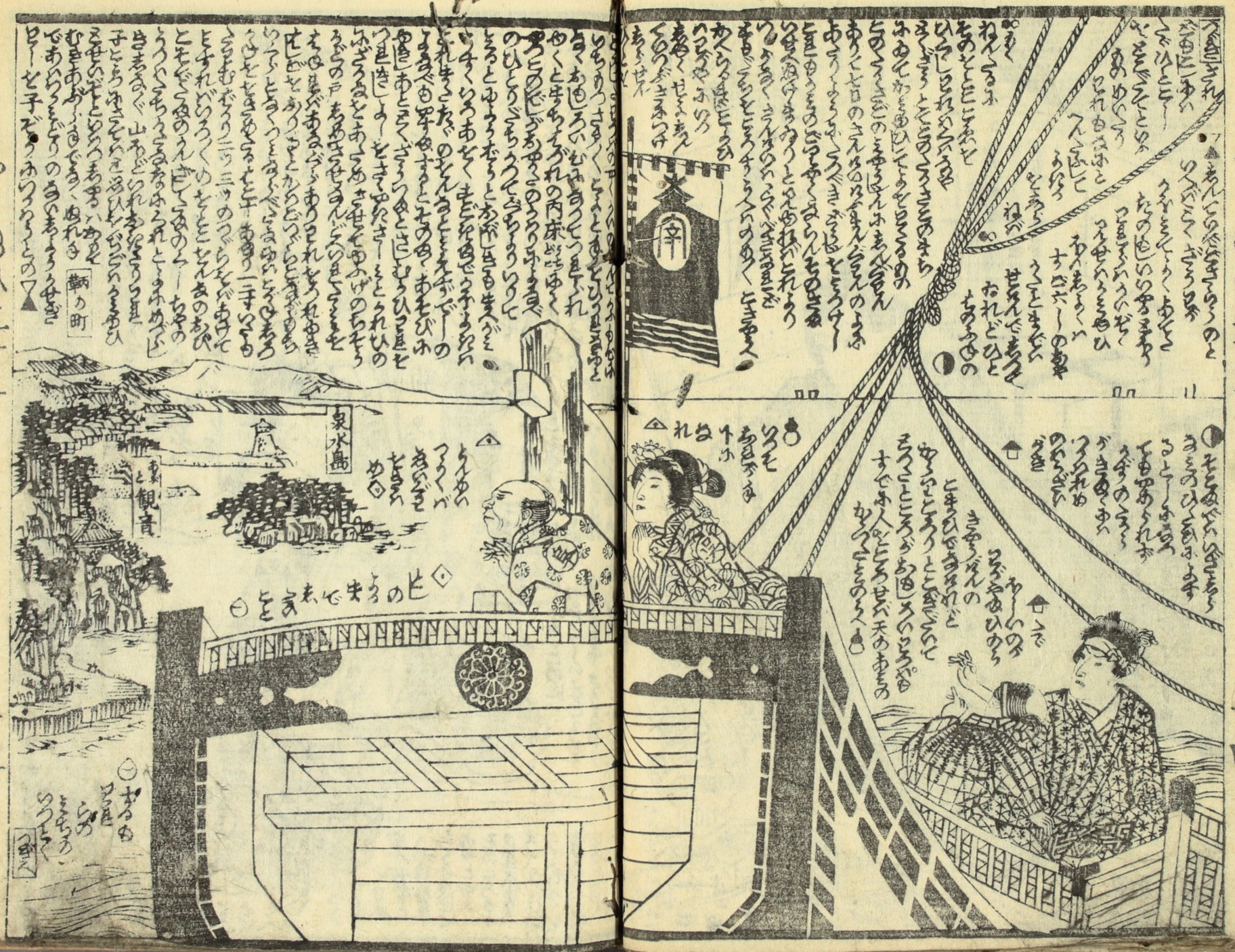
我の堂

廣幸板



享禄四年卯正月
高砂町中建之

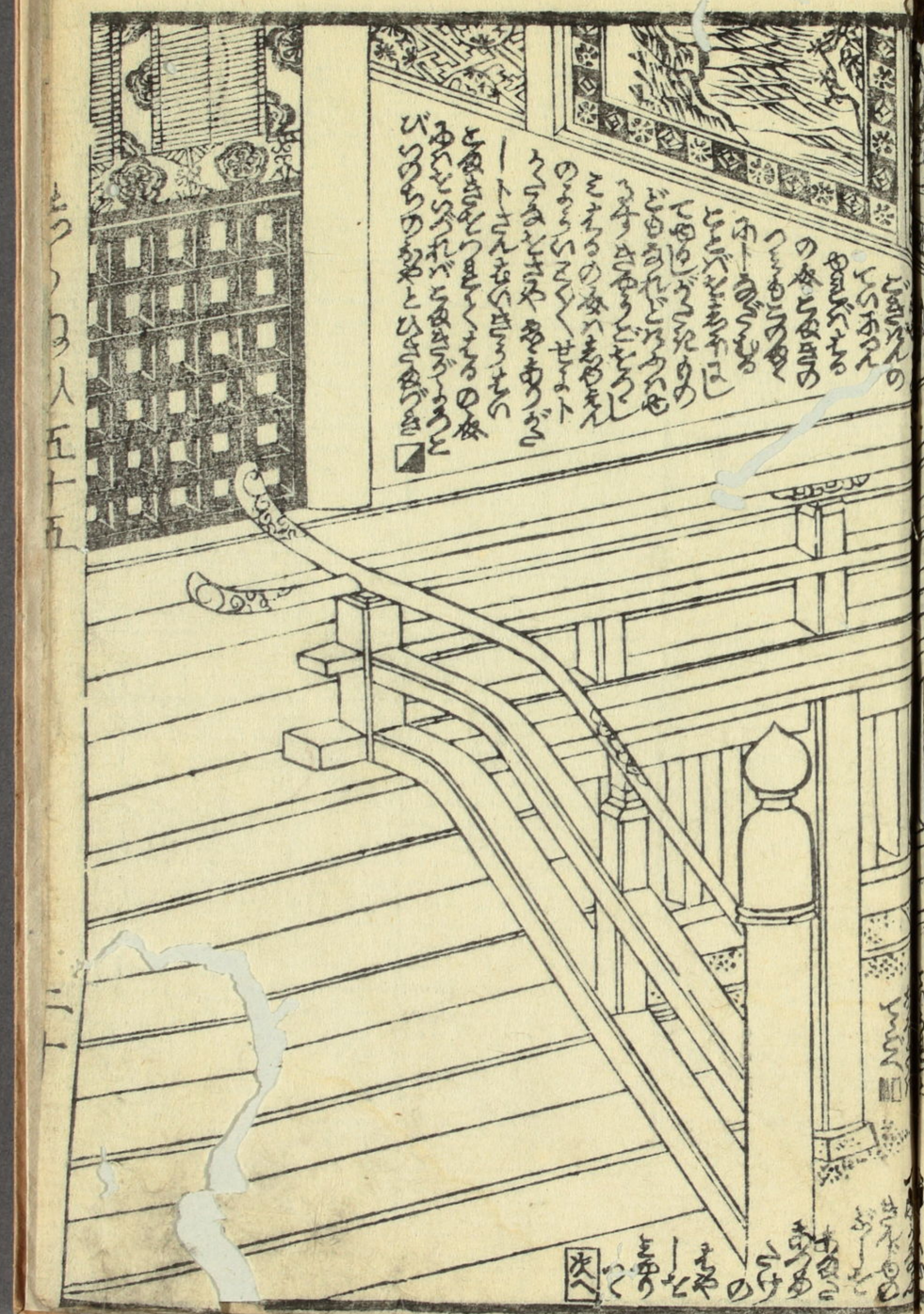
○上総木津上浦の画


泉水島
観音と
鞘の町

駒

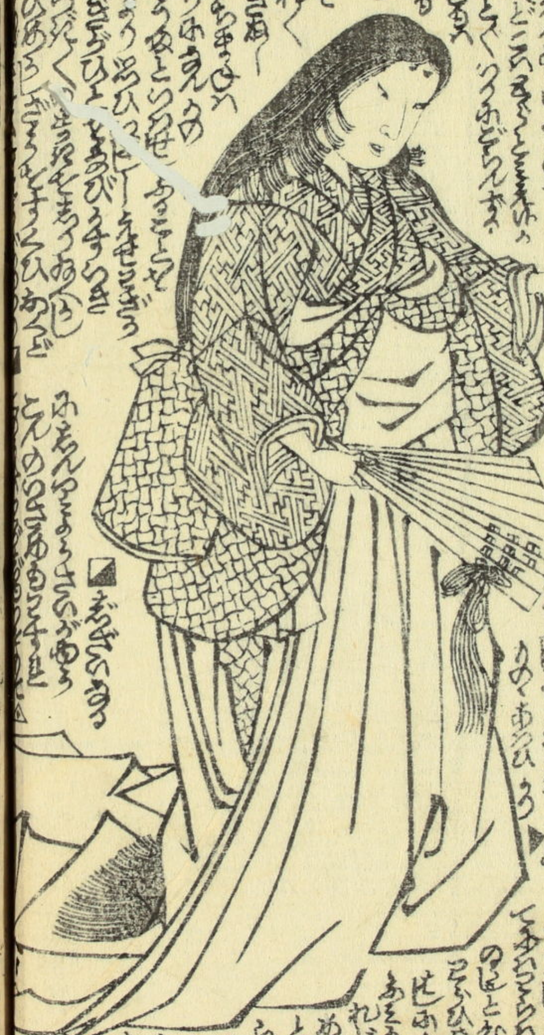
春
駒

三十あつて前かのあそこき



種彦作　芳幾画

交来書



名譽の義賊八
柿木金輔。

浪華黄金魚

名誉の孝女八
枯三豆於市

三編讀切
假名垣魯文作
河竹其水

瀬川如泉
山々亭有人
恵齋芳幾合
梅素玄魚
松湖交来

新霞楼芳幾画

一對男の緑の因て戯作劇場の一様に竹林なるぬ七軒人が一回五葉に特きうの合作全備の二編冊

初編　初丁より五十丁迄　其水作　同十六丁より十丁迄　有人作　同十六丁より十丁迄　交来作

二編　初丁より五十丁迄　魯文作　同十一丁より十五丁迄　芳幾作　同十一丁より十五丁迄　其水　同十六丁より廿一丁迄　有人

同廿一丁より廿一丁迄　如皐作

三編　初丁より五十丁迄　魯文作　同十一丁より十五丁迄　魯文　同十六丁より廿一丁迄　其水　同十六丁より廿一丁迄　如皐

定め一豆の筆力を尽し浮當藏板のあらぬ以同様御高評を希ふ

地本草紙問屋

江戸深川佐賀町

廣岡孫兵衛助梓